

アスペルギルス沈降抗体からアスペルギルス IgG 抗体への置き換えについて

会員各位

当学会より令和 6 年度医療技術評価提案書の申請を行ったアスペルギルス IgG 抗体について、当該試薬を販売する診断薬メーカーから、間もなく保険適用になる見込みとの情報提供がありましたため、お知らせいたします。

これまでは、アスペルギルス症の診断・治療ガイドライン 2015 にも記載のあるアスペルギルス沈降抗体の測定試薬が用いられていましたが、2022 年 7 月に販売終了となり、以降はこの代替として、ELISA 試薬 Platelia Aspergillus IgG (バイオ・ラッドラボラトリーズ 社)によるアスペルギルス IgG 抗体検査が、大手検査センター等で保険適用外として使用されてきました。

今回、保険適用になるアスペルギルス IgG 抗体(測定原理:ELISA 法)が、臨床現場において、ガイドラインに記載のある沈降抗体(測定原理:オクタロニー法(沈降抗体法))の代替として使用できるようになりました。なお、本学会ではアスペルギルス症の診断・治療ガイドライン 2015 の改訂を計画しており、従来の『アスペルギルス沈降抗体』の記載は、改訂後は『アスペルギルス IgG 抗体』へ置き換える予定です。

2024 年 6 月 14 日
一般社団法人 日本医真菌学会
理事長 澁谷和俊